

全国環境連

12月号

令和7年度 第4回理事会を開催

全国環境連は、去る11月26日に鳥取市の「ホテルニューオータニ鳥取」において第4回理事会を開催し、第21回全国大会の事業報告、委員会報告、研修会の開催等について審議、決定した。

- 日時：令和7年11月26日(水) 16時～
- 会場：ホテルニューオータニ鳥取
- 理事数及び出席理事数：
理事 24名、出席理事 19名(うち WEB 出席 1)
- 概要：事務局より、出席理事数が定款規定の定数を満たしており本理事会が成立している旨を報告。その後、定款の定めにより大川会長が議長となり議案の審議に入った。

- 内容について説明があった。また、来年3月に理事と青年部を対象にウォーター PPP について勉強会を企画しているとの報告があった。
- 2) 青年部報告
田中青年部長より、10月25日に福岡市の八仙閣において全国青年部研修会を開催し、各県組合から約100名の青年部員が参加したとの報告があった。
- 3) その他

1. 第21回全国大会について

岡山県組合中山理事より、事業報告及び収支決算(案)について資料に基づき説明があった。
議長より、収支決算(案)について議場に諮ったところ異議なく承認された。
第22回大会の開催日、会場について報告があった。

2. 連合会の運営等諸般について

- 1) 研修育成委員会報告
山田委員長より、10月9日に行われた小委員会の協議





150L・200L ブロワがリニューアル



リニア駆動フリーピストン方式採用で
消費電力削減・高耐久を実現

NEW
メドーブロー®
LA-150F/LA-200F

低消費電力
最大約19%消費電力を低減(当社比)
電気代節約、CO₂削減に貢献

長寿命
可動部品はピストンのみ
リニア駆動フリーピストン方式を採用

安心
サーマルプロテクタ搭載
異常加熱すると自動停止
(温度が下がると自動復帰)

メンテナンスが容易
フィルタ、ピストン交換は
ネジを緩めるだけの簡単作業

低作動音
屋外、夜間運転を考慮した静音設計

製品外観

長寿命 突然停止しない らくらくメンテナンス

修理研修受付中/デモ機依頼お気軽に!

技術で、人を想う。

日東工器株式会社

リニア駆動フリーピストン方式

メドーブロー®

ブロワ検索



メドー事業部 リニア販売部

〒146-8555 東京都大田区仲池上 2-9-4 Tel:03-5748-5521 Fax:03-3754-0258

www.nitto-kohki.co.jp

浄化槽整備推進関係 令和7年度補正予算(案)の概要

環境省は11月28日に今年度の補正予算案で循環型社会形成推進交付金(浄化槽分)に5億円を計上した。また、環境省が提供している浄化槽台帳システムについて、「特定既存単独処理浄化槽に対する措置に関する指針」の改定や浄化槽法施行規則の改正を踏まえたフォーマット改修を実施することにより、各自治体の維持管理や、災害時の被災状況把握の業

務効率化にも資するとともに、特定既存単独処理浄化槽対策に一層取り組むことを目的に、浄化槽対策推進費として3,300万円が計上された。

地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業は40億円の内数となっている。

災害に強い浄化槽の整備による防災対策の拡充(循環型社会形成推進交付金)



【令和7年度補正予算(案) 500百万円】

単独処理浄化槽やくみ取り槽を災害に強く早期に復旧可能な合併処理浄化槽へ転換する事業等の支援を行います。

1. 事業目的

- ・災害対応・強靱化のため、老朽化に伴って生活環境等に重大な支障が生じるおそれがある特定既存単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への転換促進を支援。
- ・あわせて、老朽化した合併処理浄化槽の更新とともに、災害時において浄化槽の被災状況の迅速な把握と早期復旧を図るための台帳システム整備を支援。

2. 事業内容

- 市町村が行う浄化槽事業に対して交付金により支援。
- 環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業(交付率1/2)
 - ・単独処理浄化槽・くみ取り槽から合併処理浄化槽(環境配慮型浄化槽に限る)に事業計画額の6割以上転換する事業
 - 汚水処理施設概成に向けた浄化槽整備加速化事業(交付率1/2) <R8までの時限措置>
 - 単独処理浄化槽やくみ取り槽から合併処理浄化槽への転換
 - 特定既存単独処理浄化槽(法に基づく維持管理を実施している少人数高齢世帯に限る)から合併処理浄化槽への転換に対する交付金基準額の増額 <R11までの時限措置>
 - 浄化槽災害復旧事業
 - 少人数高齢世帯に対する維持管理負担軽減事業
 - 市町村が定める浄化槽長寿命化計画等に基づく浄化槽の改築・更新事業
 - 浄化槽整備効率化事業
 - 浄化槽台帳整備(浄化槽の被災状況等をオンライン等で把握・情報集約する台帳システム整備含む)、計画策定・調査(特定既存単独処理浄化槽に係る調査含む)、講習会等

3. 事業スキーム

- 事業形態 交付金(補助率1/3、1/2)
- 交付対象 地方公共団体
- 実施期間 令和7年度

お問合せ先: 環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課 浄化槽推進室 電話: 03-5501-3155

4. 事業イメージ

「災害に強い」浄化槽の特徴

- ・分散処理のため長い管きよは不要であり、地震等の災害への対応力が高い。
- ・破損が発生しても、応急措置により個別に復旧しやすい。

○交付フロー

環境省 → 交付金 → 市町村 → 個人設置型助成 → 浄化槽設置者

環境省 → 交付率 1/3又は1/2 → 市町村(2/3or1/2負担) → 国(1/3or1/2交付)

○費用負担

浄化槽設置整備事業(個人設置型)
 単独処理浄化槽・くみ取り槽から合併処理浄化槽への転換、新規設置
 個人 市町村(2/3or1/2負担) 国(1/3or1/2交付)

負担割合6/10 負担割合4/10
 ※浄化槽災害復旧事業については交付対象事業費の全額が交付金の交付対象(要協議)

特定既存単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換(一定の要件を満たす場合に限る)
 個人 市町村(1/2負担) 国(1/2交付)

負担割合1/3 負担割合2/3

公共浄化槽等整備推進事業
 単独処理浄化槽・くみ取り槽から合併処理浄化槽への転換、新規設置
 市町村(2/3or1/2負担) 国(1/3or1/2交付)

※市町村は、別途、負担金(事業費の1割程度)を個人より徴収

少人数高齢世帯に対する維持管理負担軽減事業
 個人 市町村(2/3or1/2負担) 国(1/3or1/2交付)

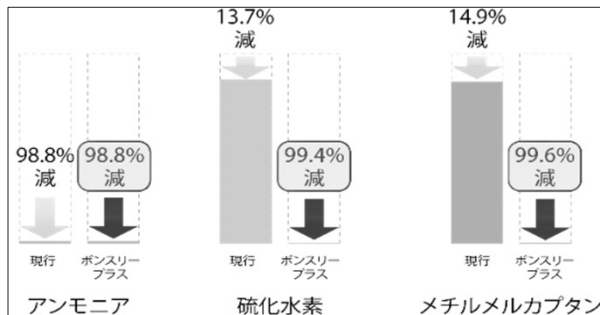
負担割合1/2 負担割合1/2



消臭効果の大幅向上・低コスト・簡単!



硫化水素、メチルメルカプタンの消臭効果が従来品より大幅に向上!



環境保全車両の開発・製造・販売

株式会社 **モリタエコノス**

Webサイトはこちら



このQRコードはアクセス解析のためにCookieを使用しています。アクセス解析は匿名で収集されており個人を特定するものではありません。この機能はCookieを無効にすることで、Cookieを用いた収集を拒否することができます。お使いのデバイスのブラウザの設定をご確認ください。QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

生ゴミ臭対策に



専用香料で不快な悪臭を爽やかな香りに!



環境省などへ政府に対する要望書を提出

全国環境連執行部は、12月22日(月)に環境省を訪問し、岡山で開催された第21回全国大会で決議された政府に対する要望を環境省環境再生・資源循環局 角倉一郎局長に手渡し説明するとともに、業界として経営の安定を維持し、廃棄物の適正処理を行い循環共生型の社会づくりを図ることを表明した。また、農林水産省、国土交通省、経済産業省の関係各部署にも同様の要望書を提出した。



令和7年度全国環境連青年部研修会を開催

全国環境連青年部は、11月25日(火)に福岡市「八仙閣」において令和7年度青年部研修会を開催し、各県組合青年部員約100名が参加した。

田中唯介青年部長のあいさつ、来賓として出席した大川和彦会長の祝辞のあと、(株)カンツールの佐々木啓至氏より、「下水道維持管理の変遷、官民連携とウォーター PPP(WPPP)について」をテーマに、公共インフラの持続可能な運営を目的とした WPPP の取り組みについて、実例を交え講演が行われた。参加者からは多くの質問が出され、各地域の課題や取り組みを共有した。その後、担当者より業務の効率化や維持管理に役立つ(株)カンツールの機器・技術について紹介があった。

終了後は懇親交流会を開催し、来賓の福環連永野孝明会長の挨拶、井上輝男専務理事の乾杯の発声で開宴し、全国の青

年部員が県域を越えて交流した。今後の活動に向けた意見交換や情報交換を行うとともに、企業とのつながりを深める貴重な場となった。



事業推進部会報告

12月19日(金) 14時30分よりふれあい貸会議室 Premium トヨタレンタリース博多駅前6階会議室において開催され、各班報告及び山口県環境整備事業協同組合山田幹二理事長を講師に、合理化事業計画に対する組合の取り組みについて研修を行った。



金沢から
全国、海外に・・・
誠意と信頼の
ネットワーク



■取扱商品

エアポンプブロー ガス検知器・送排風機
電動工具・制御機器・記録紙 水中ポンプ・陸上ポンプ
配水管清掃機器・薬剤 浄化槽関連部品・FRP補修剤
給水ポンプ・薬注ポンプ 各種産業用ベルト・ホース
マンホール・その他
水質検査器・理化学機器 浄化槽用消毒薬・維持管理剤

水処理関連機器の総合商社

即答即配システムが当社のモットーです。



株式会社 日環商事

本 社 〒920-0333 石川県金沢市無量寺5丁目75番地

TEL:076-268-1771(代) FAX:076-267-5348

FAX専用 フリーダイヤル 0120-617-718

E-mail:info@nikkan-shoji.co.jp

http://www.nikkan-shoji.co.jp

四国営業所 〒769-0103 香川県高松市国分寺町福家甲196番地1-101

TEL:087-813-7621 FAX:0120-617-718

九州営業所 〒812-0861 福岡県福岡市博多区浦田1丁目21号-7

TEL:092-558-4828 FAX:0120-617-718

大分県環境整備事業協同組合創立50周年記念祝賀会

11月11日(火)にホテル日航大分オアシスタワーにて大分県環境整備事業協同組合創立50周年記念祝賀会が開催され、大川和彦会長をはじめ全国環境連理事や各県青年部長、嶋幸一大分県議会議長、阿部英仁自由民主党大分県支部連合会会長、県内外関係団体、県の関係部局などのご来賓、大環協同組合員など80名が参加して盛大に開催された。

オープニングアトラクションとして、(株)豊肥環境センターの社員で構成されている和太鼓チーム「豊勇会」による演奏が行われ、中畑宝副理事長の開会の辞のあと、主催者である穴南幸司理事長が、この50年間の様々な困難や苦悩を振り返りつつ、「先人の活動や努力に対し敬意を表する」と式辞を述べた。

来賓祝辞では、首藤圭大分県生活環境部長、嶋県議会議長、全国環境連大川会長、(一社)全国浄化槽団体連合会九地協安徳会長よりご挨拶をいただいた。

大川会長は、「組合の発展には共感力、改善力、適応力が必要。」「志を同じくする同業、異業種他社と協力し、少しずつ新陳代謝し環境変化に順応していくという視点をもつことは今年の全国大会のテーマにある不易流行にも通じるものがあると思う。」と述べた。

乾杯挨拶では、自由民主党大分県支部連合会阿部会長より「長きにわたり、県の実生活環境の保全に努力されてきた」と感謝を述べられた。

祝賀会では出席者相互の親睦が図られ、最後に、閉会の辞として祝賀会の実行委員長である江藤智幸専務理事より感謝の挨拶と今後の組合の発展を祈念し、盛会のうちに終了した。参加した組合員はもとより、来賓の皆様方にも楽しい時間を過ごしていただいた祝賀会となった。



「豊勇会」による和太鼓演奏



穴南理事長あいさつ



大川会長の祝辞



祝賀会の様子(乾杯)

溶存酸素計 DO計	pH/ORP計	MLSS/界面計	塩素イオン計
ガルバニ式センサー交換タイプ DO-11Z 	pH/ORP計 KP-11Z pH計 KP-11F <small>計量法型式承認 本体:第SS242号 電極:第S251号</small> 	MLSS/界面計 SS-10Z MLSS計 SS-10F 	測定レンジ自動切替機能付 CL-11Z 
測定範囲 DO : 0.00~20.00mg/L 飽和率 : 0~200% 水温 : -5.0~50.0℃	測定範囲 pH : 0.00~14.00 pH ORP : 0~±1999mV(KP-11Zのみ標準) 温度 : 0.0~50.0℃	測定範囲 MLSS : 0~20000mg/L 水深 : 0.00~5.00m <small>(SS-10Zのみ)</small>	測定原理 固体膜塩素イオン電極法 測定範囲 : 0.1~2000mg/L
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; font-size: small;"> その他の営業品目 濁度計、色度計 UV式COD計、導電率計 </div> <div style="text-align: center;"> <h2>KRK 笠原理化工業株式会社</h2> </div> <div style="text-align: right;"> https://www.krkjpn.co.jp </div> </div>			
〒340-0203 埼玉県久喜市桜田2丁目-133-8 TEL.0480-38-9151(代) FAX.0480-38-9157			

南から
北から

各県組合報告

鹿児島県

▼令和7年度事業主研修会開催

11月14日、マリンパレスかごしまにおいて事業主を対象に研修会を開催した。

講演Ⅰでは、「鹿児島県の生活排水対策について」をテーマに、講師の鹿児島県土木部生活排水対策室室長の綾織孝文氏から幅広い内容の講演をいただいた。

まず、鹿児島県では下水道整備は縮小傾向にあり、浄化槽の新設や転換で汚水処理人口普及率の上昇が図られていることの説明があった。

次に、昨年度に設置された鹿児島県浄化槽協議会(法定協議会)の進捗状況について、第1回作業部会で効率的な普及啓発や要領(事務取扱・指導監督)事務フローの見直し、改善などのテーマが協議され、近日中に開催される第2回作業部会で合意された事項については、法定協議会で決定したいとのことであった。

また、令和7年8月7日に霧島市や始良市で発生した豪雨災害に対する復旧対応に関して、浄化槽の蓋流出や槽内への土砂流入などの対応について説明された。今回の対応で様々な検討を行ったとのこと、この経験を県下の市町村に周知し、今後の災害復旧対応がスムーズに行えるようにしたいと話された。

講演Ⅱでは、「廃棄物処理法の基本を踏まえたこれからの一般廃棄物の適正処理の推進について」と題して、(一社)全国清掃事業連合会政策企画委員の野村俊明氏より講演いただいた。重要な通知である平成20.6.19通知に関して、市町村は、自ら定めた一般廃棄物処理計画に基づき責任を持って処理を行う必要があることを改めて認識する必要がある。平成26.10.8通知に関して、委託基準が経済性の確保等の要請ではなく、業務の確実な履行を求める基準であることに留意する必要とともに、市町村は受託者と連帯して生活環境の保全上の支障の除去や発生の防止のため、必要な措置を講ずる必要があることなど、市町村の処理責任が極めて重いことが説明された。

併せて、個々の企業で考えても打開のヒントや方向性が見えない。多社が協働すれば状況打開につながるため、「競争社会から共創社会へ」という視点が重要であるとのことであっ



た。講演を受け、未来に向けて行動を改める必要性を改めて認識した。

▼第32回 浄化槽維持管理技術研修会開催

11月14日「マリンパレスかごしま」において、組合員及び各事業所から管理士等、約220人が参加して浄化槽維持管理技術研修会を開催した。

研修は、まず「レベル0の発生状況と改善策について～鹿児島県における水質悪化の原因別発生率～」と題して、公益財団法人鹿児島県環境保全協会検査二課の東村翔太氏による講演が行われた。

冒頭で、鹿児島県浄化槽指導監督要領の「保守点検に起因する立ち入り要件の見直し」が検討されていることを説明され、日常の点検業務作業において適正な水処理を常に維持するため、この研修会を通して浄化槽点検のポイント・情報の共有を行い、浄化槽管理士の技術の向上を図ることの重要性を感じた。

次に、対応レベル0(県浄化槽指導監督要領における「問題が認められ保守点検業者へ改善を求める場合」)の発生状況、発生原因、原因別改善数と改善率などが説明され、レベル0の主な原因は送風機故障と水質悪化である。また、浄化槽の型式ごとのレベル0の発生状況や対処法なども説明された。改善が難しい浄化槽に対して、検査機関と協力して技術力を高め、改善率向上を図っていかねばならない。

後半は、「浄化槽維持管理に係る浄化槽製造業との意見交換会」で、浄化槽メーカーのアムズ(株)、クボタ浄化槽システム(株)、大栄産業(株)、(株)ダイキアクシス、(株)ハウステック、フジクリーン(株)の6社に協力をいただき、意見交換会を行った。

会場を4か所に仕切り、管理士は希望するメーカーの所に参加し、鹿環協技術管理委員会の進行のもと、管理士とメーカーが直接対話できる形で行った。事前に、組合員から各メーカーの浄化槽に対する質問や意見を提出してもらい、各メーカーからも回答をいただいていたので、維持管理方法や注意点を掘り下げて熱心に意見交換が行われた。

また、メーカーに対して意見要望を直接伝えられたので、双方にとって有意義な意見交換会であったと考えている。



熊本県

▼令和7年度第12回理事会

11月10日(月)14時から組合会議室にて開催。次の議案等の審議及び報告を行った。なお、開会前に熊本県下水環境課から、県浄化槽台帳システムの整備方針について説明があった。

1. 令和8年度県予算に関する要望の件

2. 全国環境連第21回全国大会(10/24・岡山)参加費清算の件
3. お歳暮の送付先の件
4. 全国環境連関係
5. くまもと浄化槽適正管理促進協議会(県浄化槽法定協)関係
6. (公社)熊本県浄化槽協会関係
7. 令和7年度浄化槽フォーラム・熊本 他

▼青年部視察研修

11月6日(木)に青年部員16名で神戸市のモリタエコノス本社工場を訪問し、バキューム車等の製造工程を視察した。



▼上天草市への寄附金贈呈式

11月17日(月)に上天草市を訪問し、市長と面会のうえ、同市の公衆衛生向上や環境保全に活用していただくため、寄附金を贈呈した。



▼熊本県災害廃棄物処理図上演習

11月18日(火)に県循環社会推進課の主催により、市町村及び広域組合等の担当職員を対象に、県庁にて「災害廃棄物処理の図上演習」が開催され、環境事業団体連合会の事務局長(当組合専務理事)が相談役として参加した。



一、執行部報告

1. 「浄化槽行政に関する調査」の結果に基づき勧告に対する改善措置状況について

9月29日に総務省が表題の件に関する第1回目のフォローアップの調査結果の公表を行った。

環境省に対し、①判定の考え方の見直し、定量的基準の設定 ②判定に、浄化槽法11条に基づく検査結果を活用する措置 ③保守点検・清掃業者からの情報収集の仕組みを有効に機能させる措置 ④維持管理の向上に向けた浄化槽台帳整備・活用法の提示、デジタル化の検討の事項が勧告されている。

改善措置として、①漏水があることなどをもって特定既存単独槽と判定することと明確化、関係団体等へのヒアリングを踏まえ定量的基準を設定 ②指定検査機関や都道府県等に対し11条検査結果報告書に特定既存単独槽に該当するおそれの有無を明記する統一ルール化 ③マニュアルや事例集を新たに作成して、保守点検・清掃業者から収集する具体的な情報や実際の活用例など情報収集の仕組みが有効に機能する措置 ④保守点検・清掃の実施率向上に寄与する浄化槽台帳の実際の活用例、デジタル化に取り組む事例をまとめて事例集として公表が取りまとめられていることが報告され資料が配布された。

2. 一般廃棄物処理業務における価格転嫁について

令和6年9月に一般廃棄物処理業務における「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」等を踏まえた対応についての通知が発出され、廃棄物処理事業を確実に実施し、構造的な賃上げを実現するためには、昨今の物価の状況などを踏まえた適切な委託料・処理料金が事業者を支払われることが重要であることから労務費、原材料費、エネルギーコスト等の適切な転嫁の実施に努めるよう周知徹底のお願いがなされていた。令和7年5月にアンケート調査が実施され、10月に価格交渉に関する指針を踏まえた対応についての調査結果が公表されている。また、福岡県においても各市町村へのアンケート調査、廃棄物処理団体へのヒアリング調査等が実施され調査内容等が発出され適切な価格転嫁を行うようお願いされていることが報告され資料が配布された。

3. 浄化槽法定検査受検促進・調査事業の実施に係る各単協への周知について(依頼)

県が、過去に受検促進文書を送付していない浄化槽管理者で、昨年度の法定検査の受検申請がないものを対象に調査事業が行われることから協力の依頼が来ていることが報告された。

二、各部報告

経営研修部、総務部、青年部より報告

三、各地区報告

各地区より報告

四、その他

1. 全国環境連会員名簿配布
2. 12月・令和8年1月2月3月理事会開催
3. その他

福岡県

福岡県環境整備事業協同組合連合会は、去る11月21日(金)に福環連会館において11月理事会を開催した。

山口県

▼合特法に係る説明会の開催

山口県主催による「合特法に係る説明会」が、11月5日(水)から11月28日(金)まで、保健所単位の県下8カ所で開催された。県・各市町の担当者と組合員を合わせて、延べ200名の出席があった。



平成12年から始まった本説明会は、毎年組合から山口県に開催を要望しており、今回で23回目となった。

会場では、まず山口県担当者より、合特法の目的、合理化事業計画の概要、策定状況および関連通知、災害廃棄物処理計画等について説明がされた。続いて、組合代表者からは、「合特法に係る山口県環境整備事業協同組合の見解と要望」として、地元組合員から事前に収集した情報や意見、先日の全国大会での環境省講演からも引用をし、合特法や業界の現状について説明がされた。

山口県では大半の市町で合理化事業計画が策定されているため、これからも計画が適正に更新され支援業務が継続されること、行政と業者間の定期的な協議会が開催されることを中心に、会場ごとに要望を伝えた。

▼電気系保全実践技術講習の開催

11月26日(水)、27日(木)に、ポリテクセンター山口において「中大型浄化槽の電気保全技術講座(応用編)」を開催した。

本講座は、実習を中心に、制御盤の故障診断と応急処置を学び、現場で使える技術を習得することを目的としている。最近では、PLCが導入されている施設が増加傾向に

あるため、プログラムの確認方法と対応が取り入れられた。

講習を始めて6年目となる今年度は、「中大型浄化槽の電気保全技術講座」の基礎編、応用編と、「小型(家庭用)浄化槽の修繕技術講座」の3講座で計6回開催し、のべ55名の参加があった。

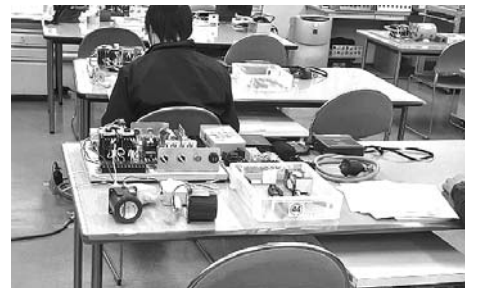
どの講座も受講生からの評価は高く、組合員全体に浸透してきているため、全組合員の受講を目標とし、再受講を促すことで、組合員の更なる技術向上に寄与していくものとしている。

▼受賞者報告

副理事長の柴田裕介氏が、11月20日に山口県庁にて令和7年山口県選奨を受賞された。

島根県

●11月18日(火)~19日(水)の2日間にわたり、ポリテクセンター島根の協力のもと、初級「電気系保全実践技術(電気設備編)」研修会を開催し、6名が松江会場において受講した。この研修会は、昨年度に引き続き2年目となるもので、今年度は新たに県西部、江津市の島根職業能力開発短期大学校においても12月3日(水)~4日(木)の開催を



臭気改善で住み続けられるまちづくりを

衛生車・吸引車の臭気対策に
デオマジック®VC1 オイル

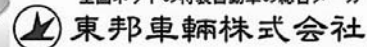
DEOMAGIC® VC1 Oil

デオマジック®VC1オイルは糞便臭を甘い香りに変化させる潤滑油です。作業員様や地域住民の皆様にご好評です。

- お得! 脱臭剤が不要になります。
- 簡単! 今お使いのオイルと同様に定期的な交換だけ。
- 新技術! 不快臭を取込んで良い香りに変える技術。



全国ネットの特装自動車の総合メーカー



東邦車輛株式会社

お問い合わせ先

東邦車輛株式会社 横浜部品営業所
〒230-0003
神奈川県横浜市鶴見区尻手3丁目2番43号
TEL: 045-575-5241/ FAX: 045-575-3271
Email: deomagic.vc1@shinmaywa.co.jp

消臭のメカニズム



営業本部	TEL: 045-575-9901	信越営業所	TEL: 025-283-6571
直販部	TEL: 045-575-9902	中部支店	TEL: 052-218-5123
直販部直販課	TEL: 045-575-9253	金沢営業所	TEL: 076-266-2203
北海道支店	TEL: 011-633-7101	近畿支店	TEL: 0798-52-2100
東北支店	TEL: 022-782-5040	東邦車輛サービス	TEL: 072-433-2401
仙台部品出張所	TEL: 022-782-5065	中四国支店	TEL: 082-890-2882
北関東支店	TEL: 048-660-5590	九州支店	TEL: 092-441-1951
茨城営業所	TEL: 0298-22-5569	福岡部品営業所	TEL: 092-441-0634
関東支店	TEL: 03-3843-3351	南九州営業所	TEL: 099-252-2070

予定しており、5名の受講を予定している。

年明けの1月14日(水)～15日(木)には、ステップアップを目指し中級「現場のための電気保全技術」を開催予定で、8名が受講予定である。

長野県

11月28日(金)千曲市 更埴文化会館小会議室に於いて第5回理事会をリモート併用で開催した。報告、協議事項については以下の通りである。

(一社)全国浄化槽団体連合会 上田勝朗会長より提案があった、北陸信越地区10団体による災害時における相互応援協定書(案)について、内容を協議し、長野県組合も参加する方向で同意した。



また、佐賀県環境整備事業協同組合が制作したDVD「私たちの使命～地域の皆様とともに～」を視聴した。

- *年賀状について
- *ウォーターPPPについて
- *生成AIの活用と注意点について
- *佐久市と佐久平環境整備事業協同組合、長野県組合3者による災害協定締結について

- ・全国環境連理事会の報告
- ・全国環境連各委員会報告
積算マニュアル委員会発足について
事業推進部会の報告
- ・全国大会収支決算報告
- ・委員会報告
- ・令和7年度第44回社会奉仕活動について
12月5日(金) 救護施設フルーツガーデンに訪問
- ・青年部活動報告
- ・その他
関東中部ブロック協議会交流会開催について
浄化槽法第11条検査手数料改定の報告

▼事業承継講習会

11月21日(金) 14時よりコンサーレ「カトレアルーム」にて開催した。

テーマ：「事業承継を考える～事業承継の成功の秘訣について」

講師：FPサポートバンク代表 中小企業診断士 小峰俊雄 様



栃木県

▼令和7年度 第4回理事会

11月21日(金) 10時より組合会議室にて開催し、下記の議案の審議・報告を行った。

発行者

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-24 AKビル5階B



全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会
会長：大川和彦

TEL 03-5207-5795 FAX 03-5207-5796

年間購読料 2,200円 1部 220円 消費税含

し尿収集容量表示計 環太郎®

“環太郎”は収集量の正確な計測と、料金の明瞭化でし尿処理業務の最適化を推進します。

簡単操作で 速くて 正確 そして 安価!

特許:第2736403・第5742875

- ◆ 取り付けが簡単!
- ◆ 安価!
- ◆ 高精度!

シンプルな構造で、空気/液体分離用タンクや計量器のロードセルは不要。出張取り付けも可能です。



実績24年 ありがとうございます



アイシー測器株式会社 本社/〒664-0063 大阪府吹田市江坂町2丁目14-46
TEL.06-6384-1543(代) FAX.06-6338-8557
URL <http://ic-sokki.sakura.ne.jp> E-mail ic-sokki@arion.ocn.ne.jp



収集量表示計